

リンカーンエレクトリックは、正直さと誠実さを持って事業を行い、事業を展開する国の法律および規制を尊重しています。当社は、このような同様の価値観を共有するビジネスパートナーを選ぶよう努めています。このチャネルパートナー行動規範では、当社の販売店、代理店、物流業者、および再販業者の商習慣に関して当社が期待することを概説しています。本規範に記載されている期待は、ビジネス関係を締結または延長するかどうかを決定するうえで不可欠な要素です。本規範の期待は、契約の特定の要件に代わるものではありません。本規範は、契約の特定の要件を補完することを目的としています。

贈収賄および汚職

賄賂、リベート、およびこれに類する支払いは禁止されています。チャネルパートナーは、不適切なビジネス上の優位性を得るための支払いと認識される可能性のある、何らかの価値のあるものを申し出たり、提供したり、約束したり、または受け取ったりしてはなりません。チャネルパートナーは、当社に代わって政府職員または公務員に、金銭の支払い、旅行、接待、または贈答品を提供してはなりません。チャネルパートナーは、国際商取引における外国公務員に対する贈賄の防止に関する条約（OECD）、米国海外腐敗行為防止法（FCPA）、英国贈収賄防止法、および事業を行うすべての国の贈収賄防止法および腐敗行為防止法を遵守するものとします。

公正な競争

チャネルパートナーは、適用されるすべての独占禁止法および競争法を遵守し、価格協定、談合入札、市場分割、違法な独占、ボイコット、競合他社との機密情報の違法なやり取り、またはその他の不公正な取引慣行等、競争を妨げる可能性のある活動を行ってはなりません。チャネルパートナーは、不適切な慣行のように見える状況さえも、発生させてはなりません。

貿易コンプライアンス

チャネルパートナーは、リンカーンエレクトリックの製品および技術の輸入、輸出、再販、および再輸出を規制する米国およびその他の国の法律を含む、適用されるすべての輸出規制および経済制裁法を遵守しなければなりません。チャネルパートナーは、禁止されている最終用途のために、または米国、EU、もしくは国連安全保障理事会による制裁の対象となっている顧客、包括的な制裁の対象となる国もしくは地域の法人もしくは個人に、リンカーンエレクトリックの製品または技術を販売または移転してはなりません。

利益相反

チャネルパートナーは、実際の、または潜在的な利益相反を開示するものとします。これには、チャネルパートナーの従業員と、チャネルパートナーのビジネスに影響を与える意思決定を行うことができる当社の従業員との間に関係がある場合、または、当社の従業員がチャネルパートナーのビジネスに何らかの金銭的利益関係を持っている場合などが含まれます。

贈答品、旅行、および接待

チャネルパートナーは、不適切なビジネス上の優位性を得るために、または誰かが公正かつ公平にビジネス上の意思決定を行う能力に影響を与えるために、何らかの価値のあるものを提供したり、受け取ったりしてはなりません。チャネルパートナーは、贈答品、旅費および接待について、適度で、頻繁ではなく、ビジネス規範に準拠し、正当な目的のために行われることを保証するものとします。チャネルパートナーは、当社に代わって政府職員または公務員に、金銭の支払い、旅行、接待、または贈答品を提供してはなりません。リンカーンエレクトリックは、違法、高価、頻繁な、または不適切に見える、贈答品、旅行および接待

を禁止しています。

機密情報、知的財産

チャネルパートナーは、専有情報やビジネス情報を含む機密情報の取り扱いにおいて、責任を持って行動しなければなりません。チャネルパートナーは、当社の企業秘密およびその他の知的財産の機密性を維持し、書面による許可が与えられた場合にのみ、当社のブランド名および商標を使用するようにしなければなりません。

マネーロンダリング防止 (AML)

チャネルパートナーは、マネーロンダリングを回避し、促進しないようにしなければなりません。チャネルパートナーは、通常とは異なる、または疑わしい活動や取引を監視するものとします。これには、現金による支払いの試み、取引に関係のない国または関係者との間での資金の移動を含む取り決め、実際の業務目的を反映しない通常とは異なる複雑な取引、記録管理や報告要件を回避しようとする試みなどが含まれます。

監視およびコンプライアンス

チャネルパートナーは、これらの期待に準拠することを確実にする管理システムを利用する必要があります。当社は、本規範の遵守について、確認を求めることがあります。

差別およびハラスメントの防止

チャネルパートナーは、人種、肌の色、性別、宗教、出身国、年齢、障がい、妊娠出産、性自認、性的指向に基づく（ただし、これらに限定されない）あらゆる形態の差別やハラスメントのない職場環境を提供しなければなりません。

規範違反の疑いの報告

リンカーンエレクトリックの従業員またはチャネルパートナーが適用法または本行動規範に違反していると思われる、またはその疑いがある場合は、当社のコンプライアンスホットライン (<https://lincolnelectric.ethicspoint.com>) を通じて懸念を報告する責任があります。当社のコンプライアンスホットラインは、特定の国の特定のプライバシー法によって規定されている場合を除き、匿名の報告を許可しています。リンカーンエレクトリックは、違反または違反の疑いがある行為を誠実に報告した従業員またはチャネルパートナーに対する報復を認めません。

2022年5月